

令和4年度東京ヘリポート消火救難訓練

令和4年9月15日（木）に、「東京ヘリポート消火・救難訓練」を実施しましたので、報告いたします。

東京ヘリポート消火救難訓練

実施日時 令和4年9月15日（木）
13時30分～16時00分

場 所 東京ヘリポート
（コンパス修正場、ホバリングエリア及び周辺スポット）

主 催 東京港管理事務所

協 力 東京消防庁城東消防署

参加機関 25機関（東京ヘリポート安全連絡協議会）

参加人員 68名（見学者含む。）

消防車両 3台（東京ヘリポート消防隊、東京消防庁城東消防署、東京消防庁装備部航空隊）

訓練概要 機体点検の終了後、コンパス修正場で調整中の機体が横転。負傷者が3名発生し、救助した後、出火したとの想定のもと訓練を実施しました。

第1部では、ヘリポート内航空会社等で通報訓練を実施し、非常時の緊急連絡体制の確認を行い、第2部では、屋外のエプロンで東京消防庁をはじめ航空会社等25機関68名が参加する総合訓練を実施し、負傷者の救出や消火手順の確認をしました。

また、訓練終了後には、東京消防庁航空隊によるAED講習が実施され、ダミー人形を用いて、使用方法等のご説明をいただきました。

最後には、城東消防署砂町出張所金田所長と東京港管理事務所千田所長よりご講評をいただきました。



* 緊急連絡体制に基づく通信訓練



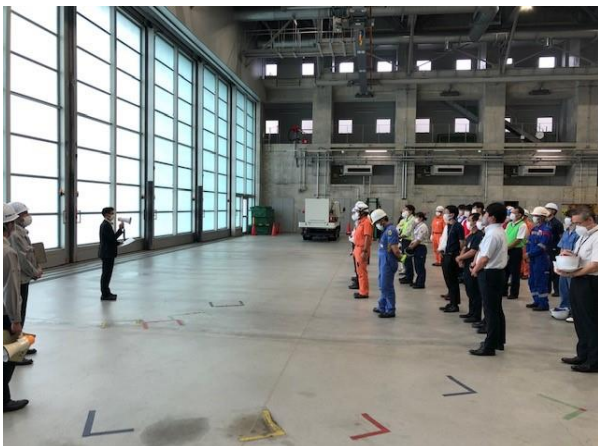
* 負傷者の救助活動



*東京ヘリポート消防隊、城東消防署、消防庁航空隊による放水



*消防庁航空隊による AED 講習会



*訓練後の講評（左：金田所長 右：千田所長）

金田所長からは、計画に基づいたおおむねの流れはスムーズにできていた。今後とも訓練を継続して、いざというときに適切な対応ができるようにしてほしい、とご講評をいただきました。

また、千田所長からは、コロナの感染拡大があり、令和元年に開催して以来、3年ぶりの開催となったが、本日の訓練によって、改めてそれぞれの役割や必要な対応を確認できたのではないかと。訓練で得た経験を各事業者様内で一考いただきたい、とご講評をいただきました。

訓練に参加されました皆さま、また、機体を提供してくださいました東邦航空株式会社様に感謝を申し上げます。

(東京港管理事務所港務課)